



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月10日

上場会社名 株式会社 アルプス技研 上場取引所 東  
 コード番号 4641 URL <https://www.alpsgiken.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 篤  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 渡邊 信之 TEL 042 (774) 3333  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	25,976	2.5	2,592	△5.3	3,314	18.6	2,218	9.5
2019年12月期第3四半期	25,352	6.8	2,736	9.3	2,795	11.0	2,025	8.8

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 2,254百万円 (15.1%) 2019年12月期第3四半期 1,958百万円 (7.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	108.16	—
2019年12月期第3四半期	96.79	—

(注) 当社は2019年7月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行っております。「1株当たり四半期純利益」については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産額	純資産額	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	20,623	11,863	57.4
2019年12月期	19,471	12,165	62.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 11,838百万円 2019年12月期 12,142百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	35.00	—	38.00	—
2020年12月期	—	35.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は2019年7月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2019年12月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

### 3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,320	5.4	4,270	6.4	4,270	4.2	2,910	0.1	139.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	24,746,675株	2019年12月期	24,746,675株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	4,289,039株	2019年12月期	3,797,910株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	20,511,437株	2019年12月期3Q	20,926,247株

(注) 当社は2019年7月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提となる条件等については、添付資料2頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により前記予想と異なる場合があります。

(参考) 個別業績予想

2020年12月期の個別業績予想 (2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,630	6.6	3,920	4.4	2,730	0.6	130.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報)	8
(企業結合等関係)	9
3. (参考)	
(1) 2020年12月期第3四半期の(要約)個別四半期損益計算書	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年1月1日~2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後は段階的な経済活動の再開による持ち直しの動きが見られたものの、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの主要顧客である大手製造業各社においても引き続き厳しい状況ではありますが、多くの主要企業は研究開発投資を維持しており、特に5G、ネットワーク関連の需要拡大を受けた半導体や、先端技術関連のソフト開発、感染症対策に伴う医療系分野の需要が堅調に推移いたしました。一方、自動車関連分野において、次世代車向けの研究開発スピードは一部に鈍化が見られました。

このような環境の下、当社は「チームアルプス」というビジョンを掲げ、より結束力の高い技術者集団となることを目指しています。また、当社グループの中核である技術者派遣事業では、採用施策の強化、優秀な技術者の確保に努めました。さらに全社を挙げて、高稼働率の維持及び契約単価の向上、チーム派遣や、外国人社員の活躍推進等の営業施策に取り組みました。以上のような施策の結果、稼働率はコロナ禍における新卒稼働の遅延により下振れたものの、稼働人数、契約単価はともに上昇いたしました。一方で、感染症拡大の影響による一部休業の発生や残業抑制により、稼働工数は減少いたしました。これらの技術者派遣事業における諸要因を主因として、当第3四半期連結累計期間の売上高は259億76百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益はコスト削減に努めたものの稼働工数が減少したため、25億92百万円(同5.3%減)となりました。経常利益は、一部技術者の休業に伴う雇用調整助成金収入も加わったことから、33億14百万円(同18.6%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億18百万円(同9.5%増)となりました。

なお、当社は第2創業期にあたり、次世代に向けた強みを創出すべく、新規事業や、知名度向上に向けた施策を推進しております。特に、農業関連分野での外国人材活躍推進においては、子会社「株式会社アグリ&ケア」を中心に、国家戦略特区や、人材派遣会社で全国初の取得となった新在留資格「特定技能1号」を活用し、様々なアグリテック(農業とテクノロジーの融合)、就農人材の活躍を進めております。当社グループは、創業以来培ってきた高度な技術力と人材育成のノウハウを活かし、幅広い価値を提供いたします。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

## ① アウトソーシングサービス事業

主要事業であるアウトソーシングサービス事業では、技術者派遣を中心に、技術プロジェクトの受託、事務派遣、職業紹介等も行っております。

アウトソーシングサービス事業におきましては、優秀な人材の確保、契約単価の改善を柱とした、採用及び営業施策に注力した結果、稼働人数は増加し、引き続き契約単価も上昇いたしました。しかしながら、感染症拡大の影響による一部休業の発生や残業抑制による稼働工数の減少により、当第3四半期連結累計期間における売上高は253億81百万円(同1.7%増)、営業利益は24億4百万円(同10.5%減)となりました。

## ② グローバル事業

グローバル事業では、海外におけるプラント設備、機械・設備機器等の据付及びメンテナンス並びに人材サービスを行っております。

グローバル事業におきましては、工事案件が概ね計画通り検収され、原価も抑制したことから、当第3四半期連結累計期間における売上高は5億95百万円(同46.8%増)、営業利益は1億85百万円(同287.0%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は206億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億51百万円増加いたしました。これは、主に賞与引当金の増加に伴う繰延税金資産の増加によるものであります。負債合計は87億59百万円となり前連結会計年度末に比べ14億54百万円増加いたしました。これは、主に賞与引当金の増加によるものであります。この結果、純資産の部は118億63百万円となり前連結会計年度末に比べ3億2百万円減少いたしました。

これらの結果、自己資本比率は57.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、当社グループに対する足元の派遣要請が引き続き堅調のため、2020年2月6日に公表いたしました連結・個別業績予想に変更はございません。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により、当社グループの業績も影響を受ける可能性があります。現時点では業績予想の修正が必要な状況ではありませんが、今後、修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,442,059	7,673,855
受取手形及び売掛金	5,382,018	5,070,379
仕掛品	155,568	326,117
原材料及び貯蔵品	961	45,134
その他	426,694	678,676
貸倒引当金	△2,115	△3,403
流動資産合計	13,405,188	13,790,760
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,013,586	3,059,075
減価償却累計額	△1,286,261	△1,367,795
建物及び構築物(純額)	1,727,325	1,691,279
土地	1,449,757	1,455,997
その他	397,364	496,491
減価償却累計額	△317,000	△401,439
その他(純額)	80,364	95,052
有形固定資産合計	3,257,447	3,242,329
無形固定資産		
のれん	277,321	438,553
その他	160,120	148,522
無形固定資産合計	437,442	587,076
投資その他の資産		
投資有価証券	1,020,504	981,147
関係会社株式	—	108,598
繰延税金資産	643,338	1,194,671
その他	928,485	942,744
減価償却累計額	△220,968	△223,947
その他(純額)	707,517	718,797
投資その他の資産合計	2,371,360	3,003,214
固定資産合計	6,066,250	6,832,620
資産合計	19,471,438	20,623,381

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	112,052	102,085
短期借入金	700,000	952,813
未払金	1,559,567	1,075,323
未払法人税等	864,974	1,087,991
賞与引当金	1,333,112	2,841,050
役員賞与引当金	32,085	22,560
その他	2,386,442	2,153,714
流動負債合計	6,988,234	8,235,537
固定負債		
長期借入金	—	188,459
役員退職慰労引当金	—	1,470
退職給付に係る負債	206,035	200,952
繰延税金負債	—	725
その他	111,430	132,845
固定負債合計	317,466	524,453
負債合計	7,305,700	8,759,990
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,347,163	2,347,163
資本剰余金	3,060,564	3,066,215
利益剰余金	10,425,509	11,131,833
自己株式	△3,963,015	△5,013,467
株主資本合計	11,870,221	11,531,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257,173	292,391
為替換算調整勘定	15,021	14,523
その他の包括利益累計額合計	272,195	306,914
非支配株主持分	23,321	24,730
純資産合計	12,165,737	11,863,390
負債純資産合計	19,471,438	20,623,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	25,352,756	25,976,572
売上原価	18,740,862	19,871,801
売上総利益	6,611,893	6,104,770
販売費及び一般管理費	3,875,453	3,512,667
営業利益	2,736,439	2,592,103
営業外収益		
受取利息	1,984	2,513
受取配当金	16,459	14,305
助成金収入	18,137	666,507
受取賃貸料	28,449	2,680
受取補償金	—	51,797
為替差益	97	—
その他	36,533	34,307
営業外収益合計	101,663	772,112
営業外費用		
支払利息	2,753	1,370
賃貸収入原価	16,064	18,947
投資事業組合運用損	2,652	10,404
為替差損	—	6,289
その他	20,834	12,780
営業外費用合計	42,305	49,792
経常利益	2,795,797	3,314,423
特別利益		
固定資産売却益	93	183
寄附金収入	200,000	100,000
特別利益合計	200,093	100,183
特別損失		
固定資産売却損	425	—
固定資産除却損	2	0
投資有価証券評価損	970	91,051
会員権評価損	299	—
特別損失合計	1,698	91,051
税金等調整前四半期純利益	2,994,192	3,323,555
法人税、住民税及び事業税	1,403,370	1,674,281
法人税等調整額	△435,367	△570,739
法人税等合計	968,003	1,103,541
四半期純利益	2,026,189	2,220,014
非支配株主に帰属する四半期純利益	696	1,570
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,025,492	2,218,443



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,026,189	2,220,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,272	35,218
為替換算調整勘定	△27,104	△660
その他の包括利益合計	△67,376	34,557
四半期包括利益	1,958,812	2,254,572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,958,821	2,253,162
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	1,409

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年2月6日開催の取締役会決議に基づき、自己株式500,000株の取得を行いました。また、単元未満株式の買取請求による取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が10億50百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が50億13百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、㈱デジタル・スパイスを新たに子会社化したため、連結の範囲に含めております。なお、同社は特定子会社には該当しません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アウトソーシングサービス事業	グローバル事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	24,947,262	405,493	25,352,756
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,000	229,613	231,613
計	24,949,262	635,106	25,584,369
セグメント利益	2,686,502	47,938	2,734,440

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,734,440
セグメント間取引消去	1,998
四半期連結損益計算書の営業利益	2,736,439

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アウトソーシングサービス事業	グローバル事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	25,381,131	595,440	25,976,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	268,477	268,477
計	25,381,131	863,918	26,245,049
セグメント利益	2,404,691	185,510	2,590,202

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,590,202
セグメント間取引消去	1,901
四半期連結損益計算書の営業利益	2,592,103

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「アウトソーシングサービス事業」セグメントにおいて、㈱デジタル・スパイスの全株式を取得したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において205,019千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 ㈱デジタル・スパイス

事業の内容 ソフトウェア開発、設計・製造、技術者派遣

(2) 企業結合を行った主な理由

㈱デジタル・スパイスは、機械、電気・電子、ソフトウェアの受託業務、技術者派遣を手掛け、宇宙の小型探査機の開発にも協力するなど、高い技術力を持つプロ集団としてお客様のものづくりを支援してまいりました。同社の全株式取得により事業シナジーを強化しノウハウを結集することで、当社グループの企業価値の向上を図るものであります。

(3) 企業結合日

2020年7月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として全株式を取得したためであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当第3四半期連結累計期間においては、貸借対照表のみを連結しており、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に被取得企業の業績は含んでおりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	335,000千円
取得原価		335,000

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

205,019千円

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力により発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

8年間にわたる均等償却

3. (参考)

(1) 2020年12月期第3四半期の(要約)個別四半期損益計算書

科 目	前第3四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
	金額(千円)	金額(千円)
I 売上高	21,850,687	22,072,196
II 売上原価	15,978,790	16,734,732
売上総利益	5,871,897	5,337,463
III 販売費及び一般管理費	3,336,271	2,977,469
営業利益	2,535,625	2,359,994
IV 営業外収益	268,394	725,719
V 営業外費用	123,802	49,625
経常利益	2,680,216	3,036,088
VI 特別利益	200,093	100,183
VII 特別損失	1,270	91,051
税引前四半期純利益	2,879,040	3,045,221
法人税、住民税及び事業税	1,268,139	1,480,312
法人税等調整額	△379,550	△529,516
四半期純利益	1,990,450	2,094,425

- (注) 1. 四半期損益計算書は、法定開示におけるレビュー対象とはなりません。  
 2. 四半期損益計算書は、「四半期財務諸表等規則」に従い作成し、要約した上で記載しております。